

令和6年度2学期終業式 校長講話

1年間で一番長く感じる二学期が終わります。

皆さんは水のように柔軟に、時として鋭く考え、行動することができたでしょうか。柔軟な考えは自分のためだけではなく誰かのためであったでしょうか。

Be water my friends とは自分以外の誰かに呼びかけています。一緒に！

という思いが込められているのでしょうか。

さて、あと少しで新しい年を迎えます。1年のはじめに「今年こそ」という志をたてようという声があちらこちらから聞こえてきます。毎年毎年同じことが繰り返されます。なぜでしょうか。私は、人は自分の考えや行動を変えてみるにはきっかけが必要で、お正月は絶好のチャンスなのだと思います。

たとえ、3日過ぎれば忘れるかもしれませんが、この機会を逃さずに勇往邁進したいものです。過去を振り返り、後悔することがあるかもしれませんが、落ち込みもほどほどにとどめて前進しましょう！

スコットランド生まれで、電話の発明者グラハム ベルの言葉です。「扉が閉じたら、もう一つの扉が開く。だが、閉じられた扉を悔しそうにじっと見つめていては別の扉が開いたことに気づかない」

今、みなさんには出会いの扉、受験の扉などさまざまな扉があると思います。それぞれの扉には自分で開けしめする扉や自然に開いたり閉まったりする扉もあります。いつどの扉が閉まったり開いたりするかは誰にもわかりません。計画していないことが起こるのも人生なのでしょう。ある扉が閉じても、もう一つの扉が開くことを信じて柔軟にそして時として鋭く、一緒に考え絶えず前向きに進む挑戦を続けましょう。